



No.53



甲賀ボン熊
©2008甲賀市工業会

このコーナーでは、甲賀市工業会に加盟されているものづくり企業を紹介していきます。

甲賀市工業会
TEL 077-0709 / FAX 077-633-4087

運送業・倉庫業のノウハウを生かし製造業へ展開

丸五運送株式会社

http://www.marugo-unsou.co.jp/

DATA

創業 / 昭和6年 設立 / 昭和53年
従業員数 / 85名
所在地 / 土山町市場1035番地4 ☎67-0511 ☎67-1105

「管更生樹脂ライナー」の製造を開始

当社は、昭和6年から運送業を手がけています。倉庫業のほか平成15年からは、将来を見据えた製造業へも展開し、下水管の修繕のために使用される樹脂製品「管更生樹脂ライナー」の製造を開始。製品の保管、輸送までを行っています。

管更生樹脂ライナーは、ガラス繊維などを加工した生地を筒状に縫製し、特殊樹脂を含浸させたものです。

これを下水管に引き込み、エアールと蒸気で拡張、硬化させることで、老朽化した下水管の内側にもう一層新しい層が作られ、道路

を開削することなく修繕工事が可能になります。

10年前、この工法を開発製造されていた取引先様から声をかけていただき、運送業のノウハウを生かして製造から工事現場への輸送までを担うようになりました。

当社の製品は、関東圏を中心に全国で使用され、現在ではトップクラスのシェアを誇ります。

必要なものを必要な時に

運送業では、新名神高速道路の甲賀・土山インター開設にともない、物流拠点の整備拡充や輸送体制の確立を進めていると



▲国道1号線に面する当社の物流拠点



お話を伺った松岡専務取締役

送に努めています。

また、運送業、倉庫業が一体となってお客様の物流業務を一括して請け負い、必要なものを必要な時にお届けしています。

運送業の強みを生かした新たな製造業へ

管更生樹脂ライナーは、工事の進捗に合わせた在庫管理や配送、また緊急対応が必要とされます。

今後、当社の製造、保管、運送の連携でお客様のニーズにお応えし、運送業の強みを生かした新たな製造業にも取り組んでいきたいと思っています。

(専務取締役 松岡繁利氏談)

●甲賀市の花・木・鳥



花 ササユリ 木 スギ 鳥 カワセミ

●今月の納税等

- 市県民税(2期)
- 国民健康保険税(5期)
- 保育料
- 介護保険料(5期)
- 後期高齢者医療保険料
- 水道料金・簡易水道料金

納期限は9月2日(月)です

市税等の納付には、便利な「口座振替」をご利用ください。

広報 あいこうか 2013年8月15日号

[No.196]2013.8.15発行

●編集・発行

甲賀市役所

〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
☎0748-65-0650 ☎0748-63-4554

甲南庁舎(甲賀市甲南町野田810番地)

【上下水道部】
☎0748-86-8000 ☎0748-86-8032
【教育委員会】
☎0748-86-8002 ☎0748-86-8380

市民窓口センター(甲賀市水口町水口6053番地)

☎0748-62-1621 ☎0748-63-4086

土山地域市民センター(甲賀市土山町北土山1715番地)

☎0748-66-1101 ☎0748-66-1564

甲賀大原地域市民センター(甲賀市甲賀町相模173番地1)

☎0748-88-4101 ☎0748-88-3104

甲南第一地域市民センター(甲賀市甲南町野田810番地)

☎0748-86-4161 ☎0748-86-8029

信楽地域市民センター(甲賀市信楽町長野1203番地)

☎0748-82-1121 ☎0748-82-3415

※上記4つの地域市民センターは、旧支所の地域市民センターで、従来の支所機能を有します。
業務時間 / 8時30分～17時15分(窓口延長日を除く)

「広報 あいこうか」がホームページでもご覧いただけます!

甲賀市ホームページ

<http://www.city.koka.lg.jp/>

『広報 あいこうか』の名称は市民憲章のそれぞれの頭文字を並べてできる「あいこうか」から名付けています。市民憲章とともに皆さんに親しまれる広報紙をめざします。



かんぴょう作りに取り組んでいるみなくち自治振興会では、夕顔のわた「中子」を使った料理の試食会が行われ、昔ながらのしよが煮のほか、シロツヤオレシジューズで煮た「中子のコンポータ」が振る舞われました。

▼このデザートは、冷やして食べると食感も良くとてもおいしいもので、地域の方たちも目からうろこだったようです。▼このレシピは、今まで全く「中子」を知らなかった方が初めて食べた時に、クセがなくアロエのように、これだったらデザートにも使えるかもしれないと考察されたそうです。▼先入観なく、違った視点で見ること地域のものが、まだまだ可能性や魅力を秘めているのだと感じました。



この広報誌は再生紙を使用しています。